

2026 年 06 月 20 日作成

第 1 版

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ 臨床研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

RRS 起動患者における重症化関連因子の検討

1. 対象となる患者さん

2023 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日に RRS 起動（入院患者さんの容体悪化を早期に発見し重症化する前に専門チームが介入する仕組み）となった当院救急科の患者さんです。

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 看護部 山本 莉緒

3. 研究の目的と意義

この研究は、HCU で RRS 起動後に ICU へ転棟に至った方と、転棟にならずに HCU での継続加療となった方を比較し、急変前の生理学的異常および患者背景・環境要因を検討することで RRS 起動患者さんの重症度と転帰（最終的にどのような結果・結末に至るか）の関連を明らかにします。

4. 研究の方法

電子カルテから RRS 起動患者さんを適格基準・除外基準に則って RRS 起動基準を満たしている項目と項目数を抽出します。

5. 使用する情報

入院期間（RRS 起動以降の日数）、28 日死亡率、性別、年齢、RRS 起動項目（頻呼吸・徐呼吸、SpO2 低下、頻脈・徐脈、血圧上昇・低下、意識レベル低下）、
qSOFA（感染症が疑われる患者さんで敗血症の重症化リスクを簡便に評価する指標）

以上の情報を収集します。

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2027 年 6 月 30 日

8. 個人情報の取り扱い

研究開始時に、氏名、住所等の個人の特定が可能なデータを研究用 ID に置き換え、対応表を作成します。対応表は、パスワードをかけて、インターネットとつながっていないコンピュータ上に保存します。パスワードを知る者は研究責任者のみとします。

9. 研究に関する情報の公開について

本研究は、介入を行う研究ではないため、臨床研究公開データベースへの登録は行わない予定です。研究結果については、学会、論文等で発表予定です。

10. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院看護部 山本 莉緒

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051